

日本スリーデーマーチに参加

今年も日本最大の歩く祭典、「第39回日本スリーデーマーチ」が11月4日～6日の3日間、東松山市を中心に開催された。

大会3日間で延べ87000人以上の参加者が秋の比企丘陵を楽しみながら思い思いのコースを歩きました（1日目和紙の里・武蔵嵐山、2日目吉見百穴・森林公園3日目都幾川・千年谷公園）。

東上会は2日目の「吉見百穴・森林公園」ルートの10^キコースを歩きました。中央会場となる松山第一小学校を地元中学生ボランティアとハイタッチしながら元気にスタート、街中・住宅街を先ず通過。ここで誰かが今年はコースが変更されいつもの「森林公園」に行くには20^キコースになったと。よって国指定史跡「吉見百穴」を目指することとなった。

朝は冷え込んでいたが、段々気温も上昇して爽やかな秋晴れの広がりのもと気分も爽快になってくる。

「吉見百穴」に到着し一息入れる。ここが森林公園方面（20^キコース）との分かれ道。

我々はここから吉野川沿いを歩き東松山陸上競技場へ向かう。到着後は岩鼻運動公園で昼食休憩。後半は住宅街・街中を歩き松山第一小学校にゴールし全員完歩。

次なるは焼き鳥店に入り、松山名物「やき豚」を食しながらビールで乾杯しました。

